

令和 7 年度福島 12 市町村つながりづくり支援事業業務委託公募型プロポーザル
質問書に対する回答

令和 7 年 5 月 21 日

	質問項目	質問内容	回答
質問 1	「選定数について」	選定 3 件ということですが、弊社が企画提案を行うのと同時に、他者が提案する企画をフォローアップする形で提案内容に弊社が体制に入っていることは両者共に選定されることを妨げることになるか、お伺いしたい。	【募集要領 8 参加表明書の提出（3）③参加者は、複数の企画提案を行うことはできません】とありますが、この場合の「参加者」は主たる企画提案団体を指し、協力団体としての参画を妨げるものではありません。
質問 2	「参加費について」	起業に向けたスキルアップ講座(座学・制作作業等)を想定していますが、制作物の材料実費等、参加対象(住民)からの参加費徴収は可能でしょうか。	【募集要領 4（1）③企画提案ポイント及び概算見積書に企画提案した業務に必要な経費を全て計上すること】とあるように基本的には委託費からの支払いを想定していますが、講座の内容によってやむを得ず材料費が高額になる場合は、超過分について参加費として徴収することも可能です。 しかしながら、本事業は移住者・参加者のつながりづくりが主目的なため、より幅広い方々に参加していただける交流機会の創出や価格設定をお願いします。
質問 3	「本事業の背景趣旨について」	本事業を公募するにあたって、「交流機会の設置」が移住者の定住にとって必要と考える背景情報や捉えている問題意識があれば教えていただきたいです。	【募集要領 1 業務の目的 本業務は、移住者の定住を促進するため、移住者に対し広域的かつ継続的な交流機会を提供することを目的とする】としています。 これまで弊センターで移住者を呼び込む事業を中心に実施するなど、12 市町村においては令和 3 年度以降年々移住者が増加しております。一方で、地域の受入体制が脆弱な中で移住者によっては地域に溶け込むきっかけを掴めず、期待していたような移住生活を送れずに転出してしまうことが懸念されております。 また、移住者と元々の住民の関わりが弱いことも課題としてあげられており、「移住者」「元々の住民」を隔てることなくゆるやかにつながるコミュニティを地域の中で育てていくことが求められています。

質問4	「テーマの選定について」	①「子育て」「起業」「その他」より1つのテーマを選定すること、とありますが、交流するネットワークの広がりをつくるために直接的ではないテーマを交流機会のうちに設けることは可能でしょうか？(たとえば起業をテーマに選定したときに、起業ではないが、新しい取り組みをしている人、という枠で子育ての市民活動を行っている人と交流機会を設けることや、食に興味ある人を中心に集まり、起業家コミュニティとは違う異業種交流をはかる、などをイメージしています。 ② ①の質問にあげたような企画が特定のテーマ選定では好ましくない場合、「その他」の枠で公募することは可能でしょうか？(その他の場合も強く明確なテーマを持たせないとならないということか)	【仕様書 3. 委託業務内容(2) 要件ウ 交流会等についてはテーマ性を持たせるものとし、提案に当たっては下記より1つテーマを選択すること。 ・子育て ・起業 ・その他(任意にテーマを設定すること)】 としているので、基本的には選択したテーマに沿った交流会等の企画検討をお願いします。 選択したテーマを軸にネットワークの広がりをつくるため、直接的ではないテーマ(サブテーマ/副題など)を設けることも可能ですが、選択したテーマが希薄とならないよう工夫して企画してください。
質問5	「起業テーマについて」	テーマとしての起業ですがいわゆる事業づくりだけではなく、女性がハンドメイド商品を売るような社会参加に近い文脈の活動や、子育て支援やアートなどの市民活動もこのテーマの対象となりますか？また、それは事業趣旨にかなっていますか？	【募集要領1 業務の目的 本業務は、移住者の定住を促進するため、移住者に対し広域的かつ継続的な交流機会を提供することを目的とする】としています。 イベントを実施することにより参加者の交流促進となる内容であれば事業趣旨にかないます。 テーマを「起業」とする場合は A) 参加者自身が起業したいという意思をお持ちか、または既に起業している方 B) 起業した方・起業しようとしている方の事業(ハンドメイド販売や市民活動については内容によって判断させていただきます)を参加者が知る、楽しむ、または応援する交流会など という2パターンを想定しています。両パターンが組み合わせられても構いません。 また、A)の場合は起業者が制作した作品の販売促進が交流会のメインとならないよう留意してください。

質問6	「伝統文化との連携活用について」	本事業において、地域伝統行事と連動した交流イベントの企画は、評価対象となりますか？ 特に、地域住民の理解と参加を得やすい文化的要素との掛け合わせを検討しています。	【募集要領1 業務の目的 本業務は、移住者の定住を促進するため、移住者に対し 広域的かつ継続的な交流機会を提供することを目的とする 】としています。 地域伝統行事と連動し、地域の方々が継続的に参加したくなるような交流イベントを企画されてください。
質問7	「他産業との連携可否」	既存観光資源（例：サウナ、グランピング等）や地域の体験型宿泊施設と連動させる企画について、本事業の主旨に適合するものとして認識してよいでしょうか？	【募集要領4 企画提案書（1）企画提案書は、原則として事業者の特長を生かした 自由提案とする 】としていますので、他団体と連携することで実施できる企画の提案も可能です。
質問8	「伝統文化を活かした新しい交流コンテンツの評価」	地域住民にとって親しみのある文化を軸とした新たなコミュニティイベントなど、従来の枠を超えたコンテンツも『継続的なつながり』として評価されますか？	【募集要領1 業務の目的 本業務は、移住者の定住を促進するため、移住者に対し 広域的かつ継続的な交流機会を提供することを目的とする 】としています。 本事業の実施により、地域の中で多様な方々（または「起業」「子育て」という共通の属性・興味を持つ方々）を多数巻き込み、単発のイベント開催とならぬよう、今後継続的につながり、交流が続くような新たなコミュニティの土台形成を図れるかどうか評価のポイントになります。
質問9	「地域文化の理解促進を重視したプログラム設計の評価基準」	移住者と地域住民の『相互理解』を促進する手法として、地域文化や習俗を体験する設計を導入することは、本プロポーザルの評価項目のうち『地域連携』『実効性』にどの程度寄与するものとして評価されますか？	審査基準については【募集要領5（3）審査基準及び配点】のとおりです。 『地域連携』『実効性』については【審査項目 1 業務遂行能力、2 企画力】などとして評価されると考えられます。
質問10	「実施体制における伝統行事関係団体との連携の位置づけ」	地元文化に携わる自治体外郭団体等との連携を実施体制に組み込む場合、その連携体制や協力関係の明示は提案の加点要素となりますか？	質問9と同じく、審査基準については【募集要領5（3）審査基準及び配点】のとおりです。 連携体制や協力関係の明示は質問9と同じく【審査項目 1 業務遂行能力、2 企画力】などとして評価されると考えられます。